

提出していただいた意見とそれに対する市の考え

< 豊明市公共施設適正配置計画(案) >

NO.	意見等の概要	件数	豊明市の考え・対応
1	<p>愛知郡が「あいち市」として、広域的な連携をすべきである。例えば、名古屋市や豊田市のベッドタウンとして、やすらげる場、子育てや学業の場、生活しやすい場を整備していく必要がある。そのためには、豊明市の利便性を向上すべきであり、名鉄前後駅の駅ビルを活性化させる必要がある。駅前の空洞化は未来のためによくないと考える。</p> <p>また、自然のある静かな生活の場は重要であり、沓掛町内の調整区域と市街化区域はメリハリを大事にする必要がある。住処として何が必要かを考えたときに、火葬場(待合室のある)を5～10年以内につくるべきだと考える。</p>	1	<p>本計画は、今後の人口減少・少子高齢化が進む社会情勢を見据え、公共施設の維持管理・更新費用で将来世代に大きな負担を残さないために、本市の公共施設の適正配置の考え方を整理したものです。公共施設のあり方を考えていく上で、まちづくりとの連動は不可欠であり、ご意見いただきました前後駅前、沓掛町を含め市全体を見ながら、より適正な配置となるよう見直しを進めてまいります。今後40年間を見据え、様々な状況が変化していく中で、行政のみならず、民間事業者等とも連携し、より一層活性化できるよう検討してまいります。</p> <p>また、火葬場の整備につきましては、持続可能な行政経営を実現するため、引き続き近隣市町との広域的な連携を進めてまいります。</p>